

# OBCIの歩みとPostgreSQLで振り返る OSSの歴史

オープンソースビジネス推進協議会(OBCI)  
理事長  
石井達夫

# OBCIの設立

- 2008年設立
  - Linuxだけでなく、データベースやミドルウェアでのOSS普及を目指す
  - 企業に対してOSSを活用するための情報を提供
  - 会員企業のOSS関連サービスについての情報を提供
    - 有償サポートサービス
    - 教育サービス

# OBCIのこれまでの活動

- OSCへの出展
- OSS啓蒙活動
  - OSS入門セミナー
  - キーパーソンを招いてのセミナー
  - 事例紹介
  - メルマガ配信
  - プレミアムセミナー



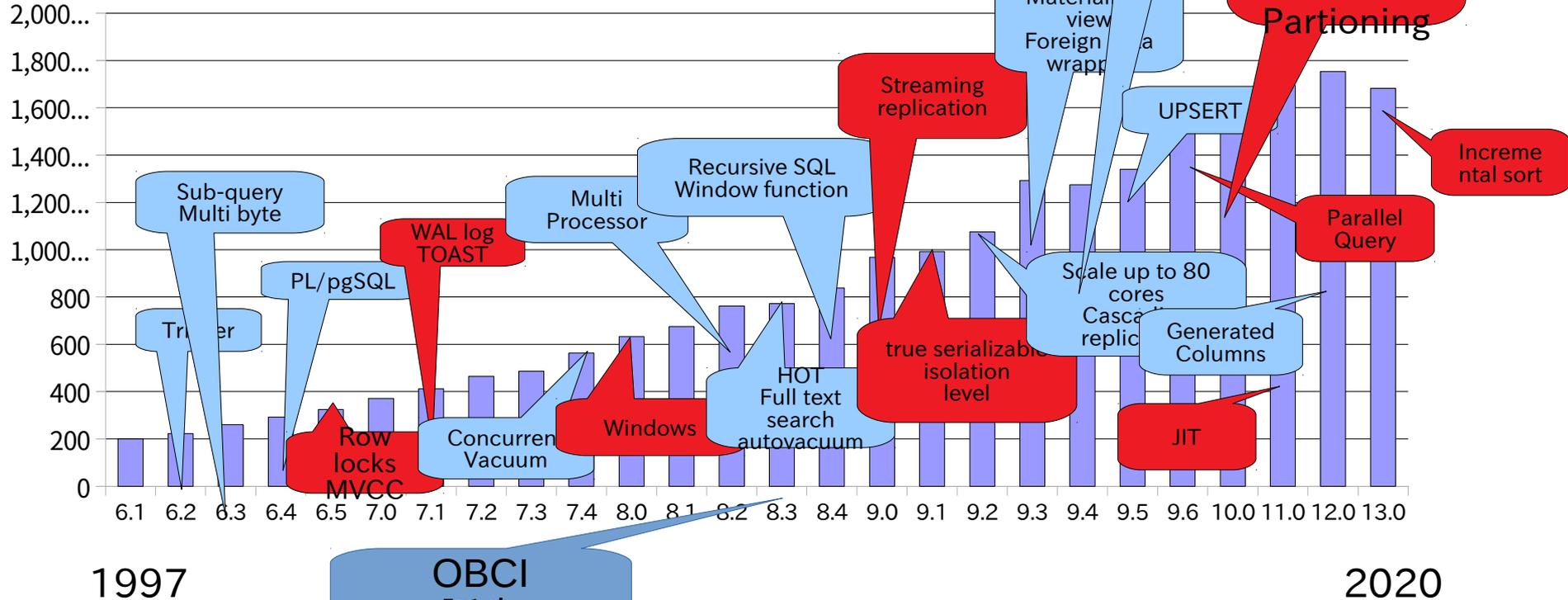
# OBCIは解散します！

- OBCIはその歴史的役割を終えた
  - データベースやミドルウェアでOSSは充分普及し、OBCIの使命を果たすことができた
  - 様々なメディアを通じてOSSを活用するための情報が入手できるようになった
  - OBCI会員企業の情報発信力が高くなった
- 今までご支援いただいた会員企業、会員の皆様、関係者の皆様ありがとうございました！

# OBCI設立から今日までのOSSの歴史 をPostgreSQLで振り返る

# PostgreSQL History

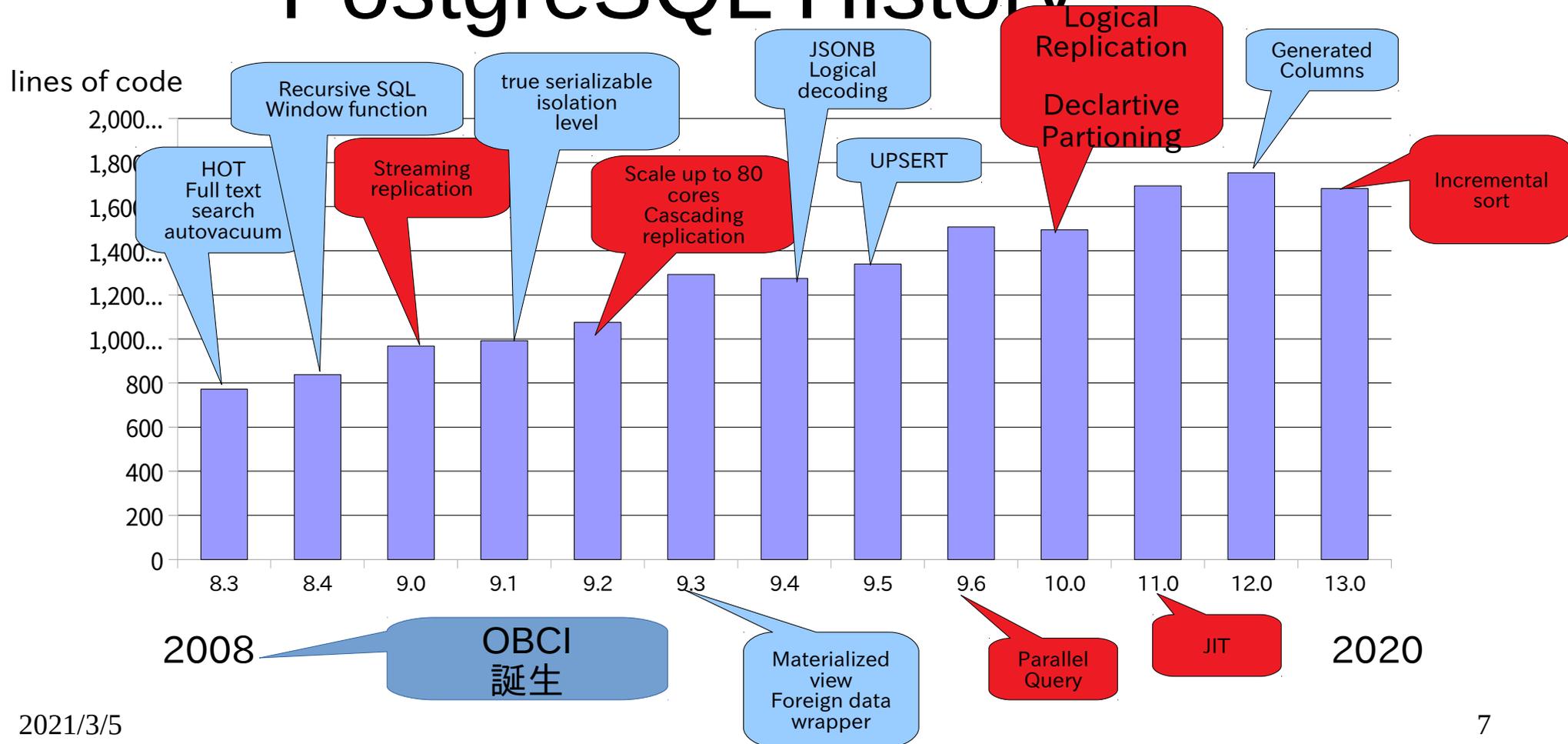
lines of code



1997

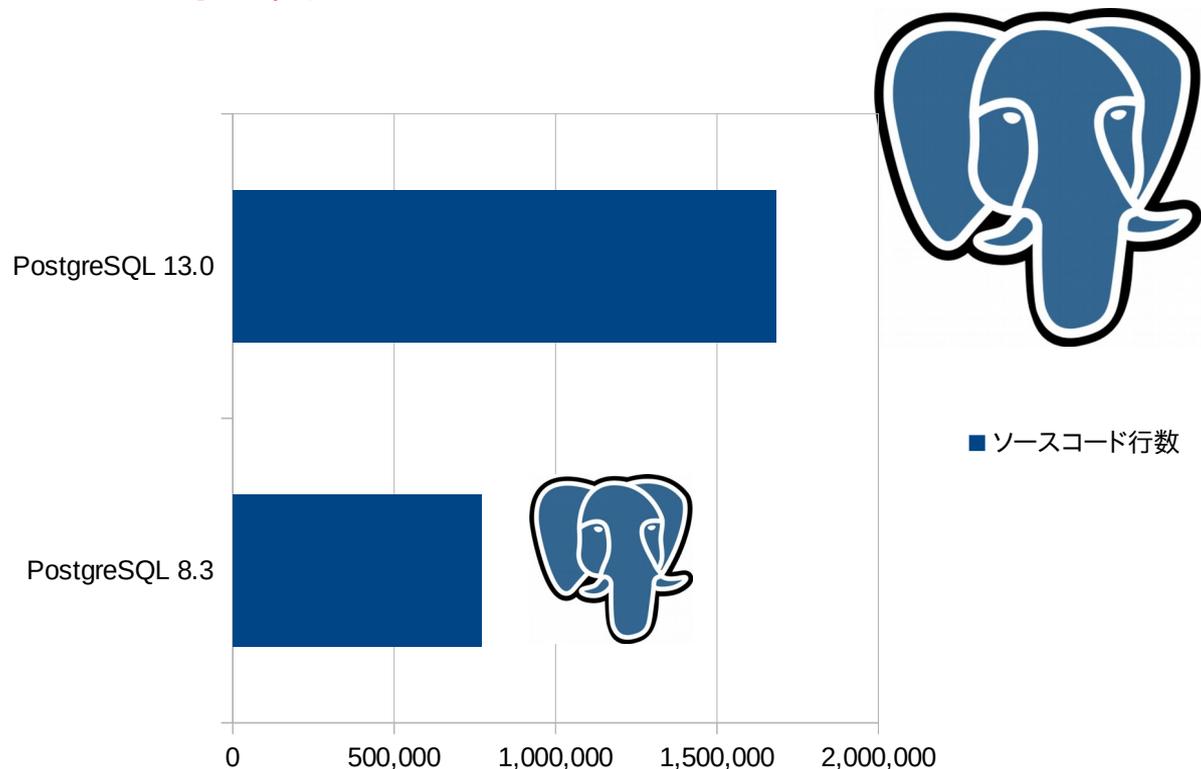
2020

# PostgreSQL History



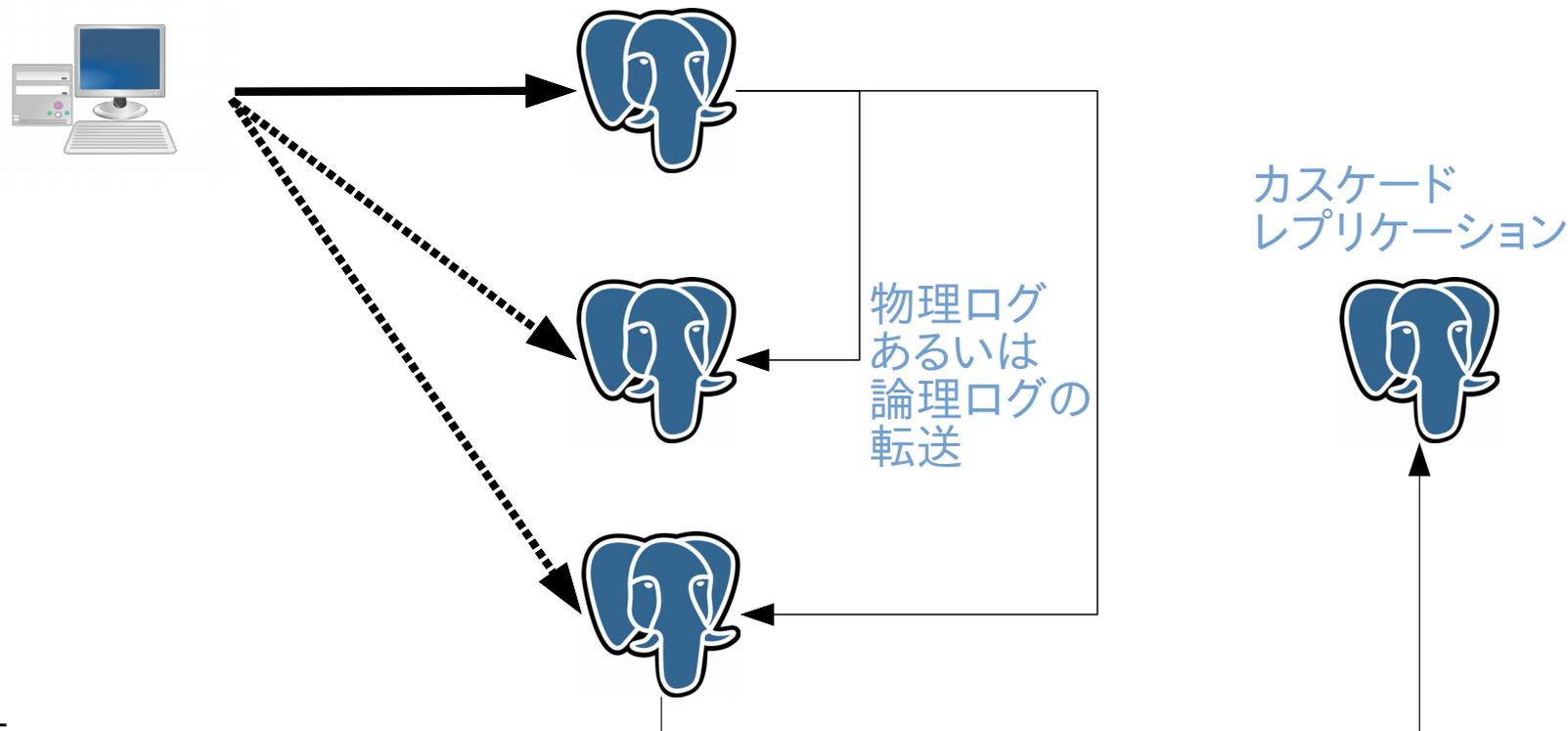
# 2008年から12年間の変化

- ソースコード行数は2.1  
倍に!

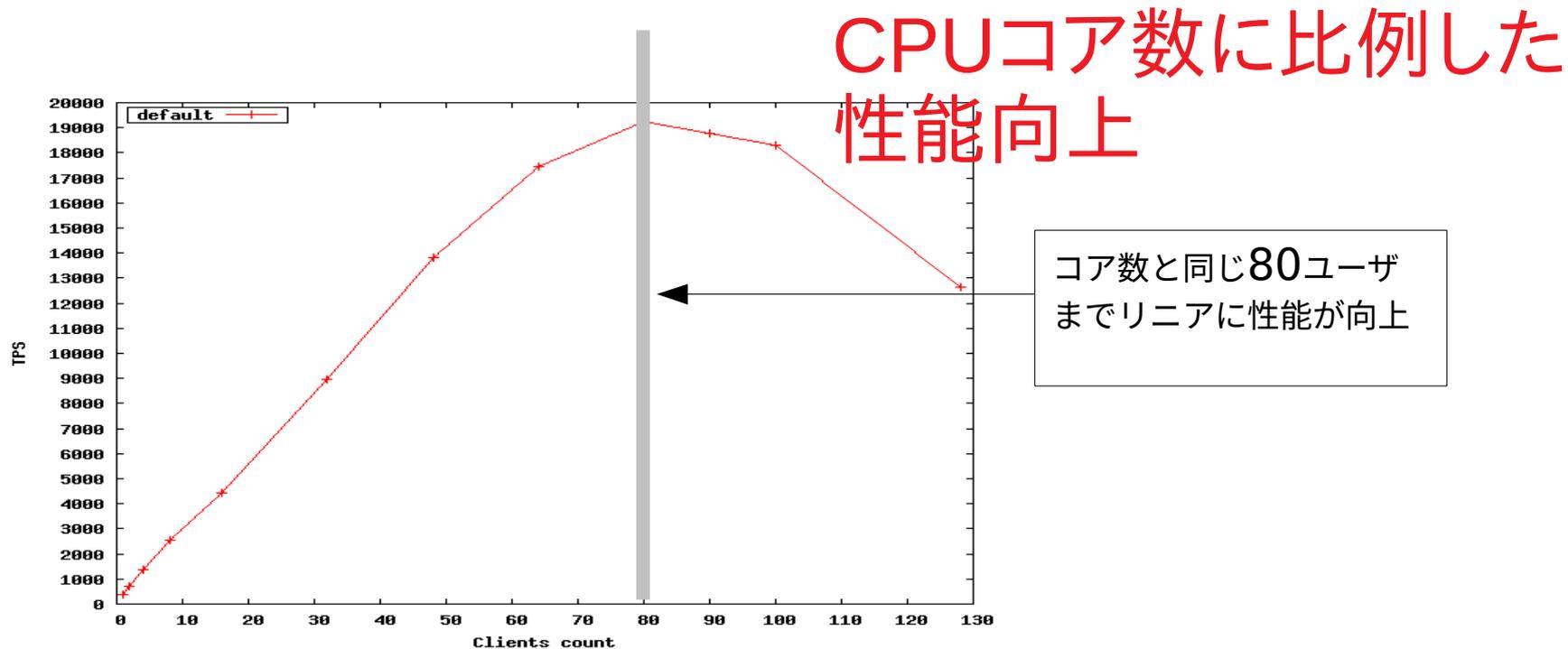


# 2008年から12年間の変化

## 組み込みレプリケーションの登場!



# 2008年から12年間の変化

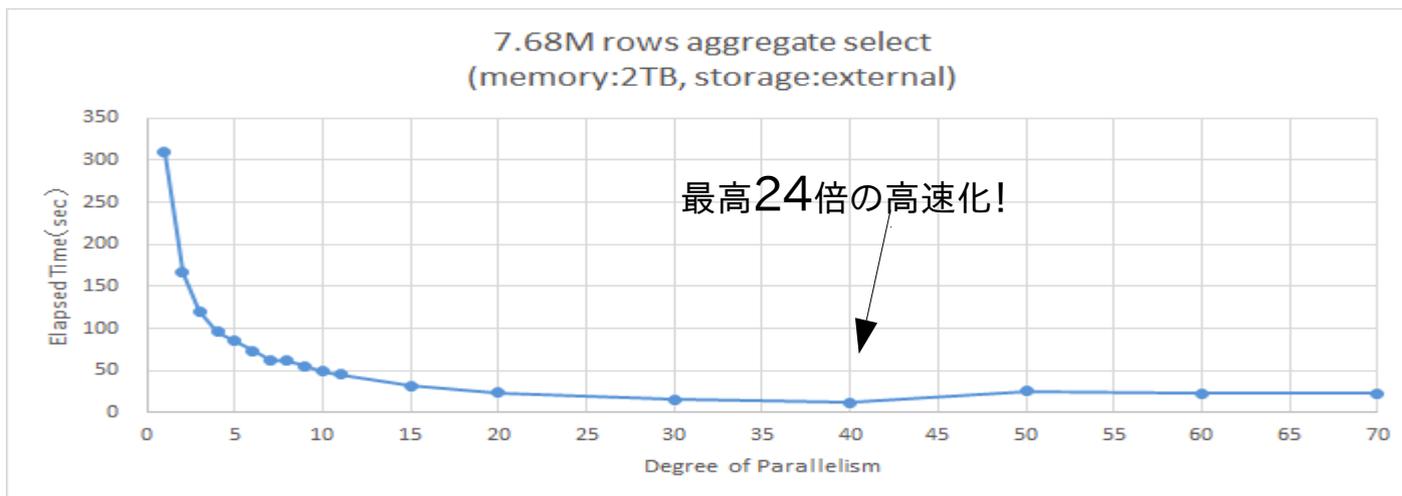


PostgreSQL Enterprise Consortium公開資料より

# 2008年から12年間の変化

## パラレルクエリによる性能向上

実行時間



→ パラレル化大

PostgreSQL Enterprise Consortium 公開資料より

# 2008年から12年間の変化

- ミッションクリティカル用途に耐える本格的なパーティショニング機能の登場!
  - テーブル作成時にパーティションの組み方を宣言する (Declarative (宣言型))パーティショニング
  - トリガなどのユーザ設定が不要
  - OracleではEnterprise Editionでのみ利用可能
- 大容量のデータベースを扱うDBでは必須機能
  - パーティション数が増えても性能が劣化しにくい

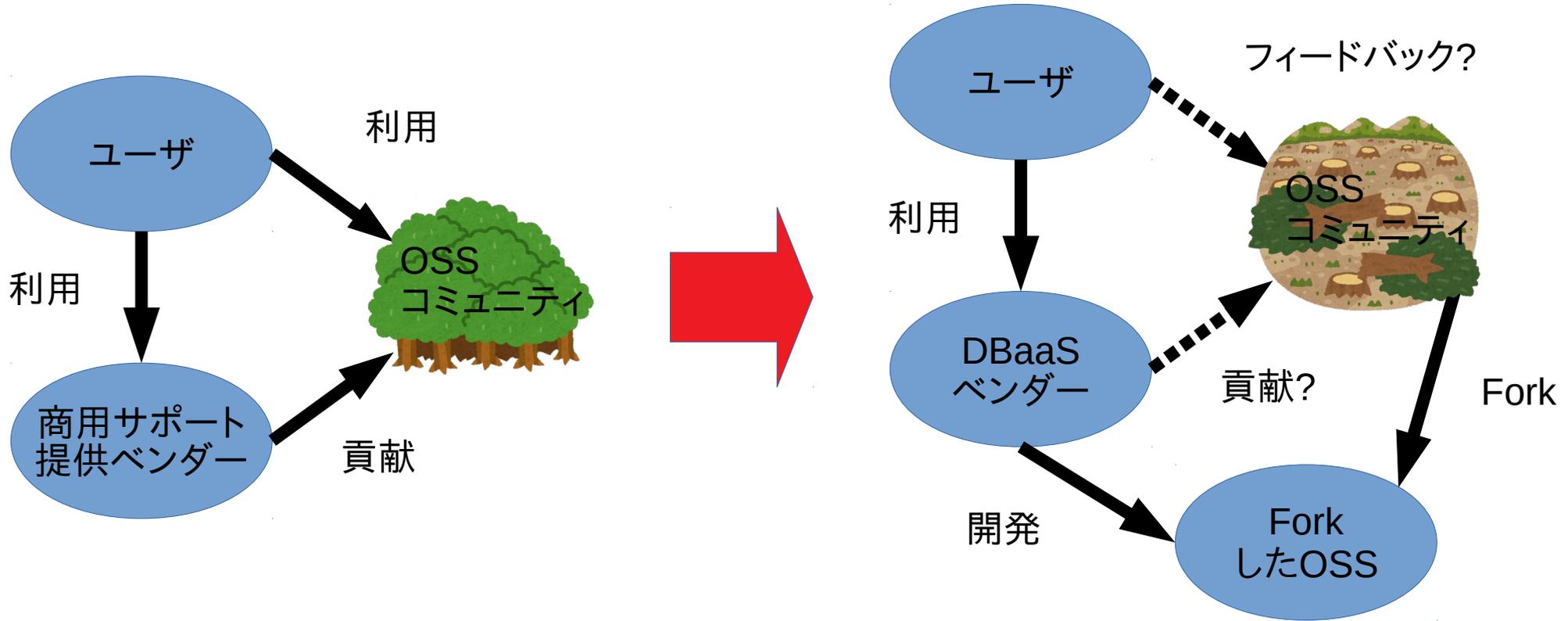
# 2008年から12年間の変化

- **Database as a serviceの登場!**
  - Amazon RDS for PostgreSQL (2013年)
  - Amazon Aurora for PostgreSQL (2017年)
  - Microsoft Azure Database for PostgreSQL (2017年)
  - Google Cloud SQL for PostgreSQL (2017年)

# 2008年から12年間の変化

- まとめると
  - スケールアップ
    - 多コアCPU対応
    - パラレルクエリ
    - 宣言的パーティショニング
  - スケールアウト
    - レプリケーション
  - DBaaSの登場で、より簡単にPostgreSQLが使えるようになった

# OSSエコシステムはどうなる？



長い間OBCIをご支援いただき  
ありがとうございました